

令和7年(2025年)4月2日付け札幌市告示第1421号の内容に係る訂正について、下記のとおり告示する。

令和7年(2025年)4月9日

札幌市長 秋元 克広



記

1 訂正する内容

令和7年札幌市告示第1421号別表の工事番号「25(土)第0075号」工事名「国庫補助事業 若松橋ほか1橋補修工事」に係る入札参加資格の施工(履行)実績について別表のとおり付記し、入札説明書及び提出を要する同種工事施工実績書を下記のとおり訂正する。

2 入札説明書及び同種工事施工実績書の訂正箇所
別紙のとおり

3 担当部局

〒060-8611

札幌市中央区北1条西2丁目

札幌市財政局管財部契約管理課工事契約係

電話011-211-2442

電子入札

(入札参加資格訂正版)

0	調達案件番号	2502007511		
1	工事（業務）番号	25（土）第 0075 号		
2	工事（業務）概要	工事（業務）名	国庫補助事業 若松橋ほか1橋補修工事	
		工事（履行）場所	札幌市手稲区前田8条19丁目ほか	
		工事（業務）内容	【若松橋】 橋長26.0m 幅員 12.8m 現場塗装工7m ² 橋面防水工300m ² 車道舗装工（t=4cm）150m ² 歩道舗装工（t=3cm）150m ² 伸縮装置取替工 一式 断面修復工 一式 【北三番橋（下流）】 橋長34.0m 幅員12.8m 支承製作工 18基 断面補修工 一式	
		工期（履行期間）	着手の日から令和8年03月09日まで	
5	入札参加資格	工種（業種）	土木	
		等級	A 2	
		所在地	市内業者（札幌市内に建設業許可における主たる営業所を有する者）であること。	
		施工（履行）実績	下記ア又はイの条件を満たす工事について、元請としての施工実績があること。ただし、当該施工実績は、平成22年4月1日以降に工事が完成し、引渡しが済んでいるもの（共同企業体により施工した工事を含む。）であること。 ア 橋梁上部新設工事 イ 橋面防水工及び伸縮装置取替工を含む橋梁補修工事（橋面防水工及び伸縮装置取替工は別工事でもよい） ※イの橋面防水工及び伸縮装置取替工が別工事の場合、同種工事施工実績書（「橋面防水工を含む工事」用）及び（「橋面防水工を含まない工事」用）を一枚ずつ提出すること。	
		主任（監理）技術者	下記ア又はイの工事の施工経験がある者を配置すること。ただし、当該施工経験は、平成22年4月1日以降に工事が完成し、引渡しが済んでいる元請としての実績に限る（共同企業体により施工した工事を含む。）。告示文を参照すること。 ア 橋梁上部新設工事 イ 橋面防水工及び伸縮装置取替工を含む橋梁補修工事（橋面防水工及び伸縮装置取替工は別工事でもよい）	
		当該工事に係る設計業務等の受託者	株式会社アイネス	
17	施行担当課及び電話番号	施行担当課	建）土木部工事課	
		電話番号	011-211-2618	



別記 2 - 3

総合評価落札方式（実績評価Ⅱ型）入札説明書 [簡易確認方式]

工事番号	25（土）第0075号
工事名	国庫補助事業 若松橋ほか1橋補修工事

1～4 省略

5 技術評価項目について

(1) 企業の評価

ア 省略

イ 提出された工事实績の成績点・・・配点表1（2）

同種工事施工実績書に記載された工事が、平成31年4月1日から令和6年3月31日までの間にしゅん功した、本工事と同工種（**土木工種**。以下本入札説明書において同じ。）で当初設計金額が500万円以上の本市（本工事が土木又は管工種の場合、水道局を除く。）発注工事である場合、その工事の工事成績評定点（以下「成績点」という。）について審査します。

以下省略



別記 2 - 3

総合評価落札方式（実績評価Ⅱ型）入札説明書 [簡易確認方式]

工事番号	25（土）第0075号
工事名	国庫補助事業 若松橋ほか1橋補修工事

1～4 省略

5 技術評価項目について

(1) 企業の評価

ア 省略

イ 提出された工事实績の成績点・・・配点表1（2）

同種工事施工実績書に記載された工事が、平成31年4月1日から令和6年3月31日までの間にしゅん功した、本工事と同工種（**土木工種**。以下本入札説明書において同じ。）で当初設計金額が500万円以上の本市（本工事が土木又は管工種の場合、水道局を除く。）発注工事である場合、その工事の工事成績評定点（以下「成績点」という。）について審査します。

なお、提出された施工実績が告示（別表）「5 入札参加資格」中「施工実績」の「イ 橋面防水工及び伸縮装置取替工を含む橋梁補修工事」の場合であって、橋面防水工及び伸縮装置取替工を別工事で施工したものであるときは、同種工事施工実績書（「橋面防水工を含む工事」用）に記載された工事について審査します。

以下省略



同 種 工 事 施 工 実 績 書

会社名 _____

工 事 名			
発 注 者			
施 工 場 所	(都道府県・市町村名)		
契 約 金 額	円 (うち出資金額 円)		
工 期	年 月 日	～	年 月 日
施 工 形 態 等	元請・共同企業体 (代表者・構成員 出資比率 %)		
工 事 概 要			
工 事 成 績 点 (※)	点		

- 注 1 下記注2の場合を除き、原則として提出する施工実績の数に応じて本様式を提出してください。
- 注 2 総合評価落札方式適用工事の場合は、提出できる施工実績は1工事のみとします。ただし、告示において、複数の施工実績で入札参加資格を満たすことを認めている場合は、必要な施工実績の数に応じて本様式を提出してください。
- 注 3 共同企業体で申請する場合は、構成員それぞれが上記注1又は注2に基づき必要な数の実績を提出してください。
- 注 4 (※) 総合評価落札方式適用工事において、評価項目に「提出された工事实績の成績点」があり、当該施工実績が本工事の入札説明書に明示する期間にしゅん功した当初設計金額が500万円以上の本市発注工事である場合は、工事成績評定点を記入してください。また、工事成績評定の結果通知書の写しを添付してください。
- 注 5 この様式により難しい場合は、この様式に準じた別の様式を使用することができます。

同種工事施工実績書（「橋梁上部新設工事」用）

正

会社名 _____

工事名		
発注者		
施工場所	(都道府県・市町村名)	
契約金額	円（うち出資金額 円）	
工期	年 月 日 ～ 年 月 日	
施工形態等	元請・共同企業体（代表者・構成員 出資比率 %）	
工事概要		
工事成績点（※）	点	

注1 下記注2の場合を除き、原則として提出する施工実績の数に応じて本様式を提出してください。

注2 総合評価落札方式適用工事の場合は、提出できる施工実績は1工事のみとします。ただし、告示において、複数の施工実績で入札参加資格を満たすことを認めている場合は、必要な施工実績の数に応じて本様式を提出してください。

注3 共同企業体で申請する場合は、構成員それぞれが上記注1又は注2に基づき必要な数の実績を提出してください。

注4 (※) 総合評価落札方式適用工事において、評価項目に「提出された工事实績の成績点」があり、当該施工実績が本工事の入札説明書に明示する期間にしゅん功した当初設計金額が500万円以上の本市発注工事である場合は、工事成績評定点を記入してください。また、工事成績評定の結果通知書の写しを添付してください。

注5 この様式により難しい場合は、この様式に準じた別の様式を使用することができます。

同種工事施工実績書 (「橋面防水工を含む工事」用)

会社名 _____

工 事 名			
発 注 者			
施 工 場 所	(都道府県・市町村名)		
契 約 金 額	円 (うち出資金額 円)		
工 期	年 月 日	～	年 月 日
施 工 形 態 等	元請・共同企業体 (代表者・構成員 出資比率 %)		
工 事 概 要			
工事成績点 (※)	点		

- 注 1 下記注2の場合を除き、原則として提出する施工実績の数に応じて本様式を提出してください。
- 注 2 総合評価落札方式適用工事の場合は、提出できる施工実績は1工事のみとします。ただし、告示において、複数の施工実績で入札参加資格を満たすことを認めている場合は、必要な施工実績の数に応じて本様式を提出してください。
- 注 3 共同企業体で申請する場合は、構成員それぞれが上記注1又は注2に基づき必要な数の実績を提出してください。
- 注 4 (※) 総合評価落札方式適用工事において、評価項目に「提出された工事实績の成績点」があり、当該施工実績が本工事の入札説明書に明示する期間にしゅん功した当初設計金額が500万円以上の本市発注工事である場合は、工事成績評定点を記入してください。また、工事成績評定の結果通知書の写しを添付してください。
- 注 5 この様式により難しい場合は、この様式に準じた別の様式を使用することができます。

同種工事施工実績書（「橋面防水工を含まない工事」用）

会社名 _____

工事名		
発注者		
施工場所	(都道府県・市町村名)	
契約金額	円（うち出資金額 円）	
工期	年 月 日 ～ 年 月 日	
施工形態等	元請・共同企業体（代表者・構成員 出資比率 %）	
工事概要		
工事成績点（※）	点	

注 1 下記注 2 の場合を除き、原則として提出する施工実績の数に応じて本様式を提出してください。

注 2 総合評価落札方式適用工事の場合は、提出できる施工実績は 1 工事のみとします。ただし、告示において、複数の施工実績で入札参加資格を満たすことを認めている場合は、必要な施工実績の数に応じて本様式を提出してください。

注 3 共同企業体で申請する場合は、構成員それぞれが上記注 1 又は注 2 に基づき必要な数の実績を提出してください。

注 4 (※) 総合評価落札方式適用工事において、評価項目に「提出された工事实績の成績点」があり、当該施工実績が本工事の入札説明書に明示する期間にしゅん功した当初設計金額が 500 万円以上の本市発注工事である場合は、工事成績評定点を記入してください。また、工事成績評定の結果通知書の写しを添付してください。

注 5 この様式により難しい場合は、この様式に準じた別の様式を使用することができます。